

学校教育目標：旭を愛し、やさしく・かしこく・たくましく生きる児童の育成

～ みんなにとって、居心地のよい学校、笑顔あふれる学校、自慢したくなる学校にしよう！ ～



チームワーク
フットワーク
ネットワーク

旭っ子

旭小学校だより

令和6年1月9日

文責 校長 木村 嘉身

TEL 0942-83-2806

<https://www.education.saga.jp/hp/asahi-tosu-e/>



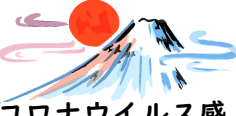
あけましておめでとうございます

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ感染拡大防止のため、学校行事を含め、様々な面で、ご迷惑やご心配をお掛けいたしました。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力のおかげで、なんとか乗り越えることができました。子どもたちが楽しみにしていた宿泊学習（5月）や運動会（10月）、修学旅行・バス旅行（11月）などの大きな行事を実施することができて良かったです。本年も変わらぬご厚情を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、3学期は、子どもたちにとって大切な時期です。6年生にとっては、小学校のまとめ、小学校卒業・中学校進学に向けての準備の時期、1～5年生にとっては、それぞれの学年のまとめ、新しい学年への準備の時期となります。子どもたちには、健康を第一に、一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

そこで、3学期の始業式では、冬休みの生活について振り返った後、自分の今年の目標を立て、それに向けて主体的に行動することの大切さについて話しました。2024年（令和6年）新しい年、お子様はそれぞれ、生活面、学習面等で自分の目標を立てることと思います。ご家庭でも、お子様の目標を確認し、頑張っている姿を、具体的にたくさん褒めていただければと思います。そうすることが、お子様の自信や意欲、これからの成長に繋がると信じています。



富永ポンドさんと卒業記念制作【6年】

12月5日（火）、6年生の子どもたちは、多久市の現代アート作家、富永ポンドさんに「ポンドアート」について説明していただきながら、卒業記念制作に取り組みました。子どもたちは、A4版のベニヤ板に自分が好きな色を選んで形を考えながら今の自分の思いを自由に表現していました。その後、色と色との境目に、黒く着色した木工用ボンドを絞り出しながら、オリジナルのアートを完成させていました。黒いボンドは、画面の中で最も目立つように立体的であり、最も美しく光り輝かせるそうです。

「アートには失敗が無く、大人になって今回制作した自分のアートを見た時、6年生の頃の友達や先生のこと、その時の自分の気持ちを思い出すことができるでしょう。」と話してもらいました。

制作後、ポンドさんとの交流会では、自分の体験を振り返りながら、辛いときはどうしたらいいか、どのように人と関わって生きていいかなどについても話してもらいました。また、夢を叶えるためには、①夢を宣言すること、②同じ夢に向かう仲間、または協力者を見つけ、彼らに感謝すること、③夢をあきらめないこと、の3つのことが大事だと教えてもらいました。質問コーナーでは、多くの子どもたちが手を挙げ、ポンドアートを作ろうと思ったきっかけや小学校の頃のポンドさんの夢などについて尋ねていました。



※ 本紙裏面に新聞記事を掲載しております。

校門の前の門松作り

毎年、子どもたちの幸せを願い、旭小学校の校門の前に、手作りの門松を飾っていただいています。

今年も、昨年12月30日（土）、宮総代会、おやじの会、PTAの皆様のご協力により、大きな門松を作っていただきました。門松は、幸福をもたらしてくれる神様に、迷わずに来ていただくための目印になるものと言われております。本日、校門の北側から登校してきた子どもたちは、この門松を見ることができたことと思います。



薬物乱用防止教室【6年】

12月21日（木）、講師に学校薬剤師の坂上様をお招きして、6年生の子ども達を対象に、「薬物乱用防止教室」を行いました。

薬剤師の仕事についての説明をしていただいた後、主な薬物の種類（覚醒剤・大麻）や薬物が心身に与える影響、薬物依存の怖さなどについて、イラストやデータを提示しながら話していただきました。また、悪影響があると分かっているのに薬物に手を出してしまう理由について、考える機会を与えていただきました。

さらに、煙草についてもクイズを交えながら詳しく説明していただき、仲良しの友達から煙草をすすめられたときの断り方についても具体的に話していただきました。

最後に、坂上先生より、「何か不安があるときは、一人で抱え込まずに、友達や先生、家族に相談することがとても大切です」とメッセージをいただきました。こてから社会を生きていく子どもたちにとって貴重な学びの時間になったはずでした。



2024

